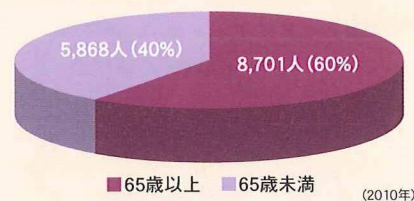
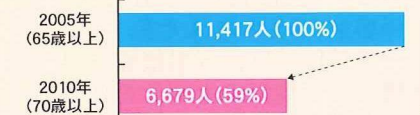


仙北農業の現状

主に自営農業に従事する人のうち、65歳以上の人は**60%**に上ります。



5年前に主に自営農業に従事していた65歳以上の人のうち、現在も同様に従事する人(70歳以上)は**59%**まで減りました。



高齢化が進んでいるようです。

借入耕地面積は**2倍以上**に増加し、経営総面積の**34%**を占めています。



仙北地域でほ場整備を契機として設立された法人 平成23年2月までの実績

No	農業生産法人	法人モデルの種類	主な作物
①	(農)かわのめ	1集落1農場型法人(地域維持タイプ)	水稲、メロン
②	(農)稲穂	1集落1農場型法人(地域維持タイプ)	水稲
③	(農)なかむら	1集落1農場型法人(利益追求タイプ)	水稲、えだまめ、とうもろこし、トルコギキョウ
④	上淀川近代化施設利用組合	1集落1農場型法人(地域維持タイプ)	水稲
⑤	(農)かくまがわ	大規模土地利用型法人	水稲、大豆、菌床しいたけ
⑥	美郷サンファーム	少数からなる複合経営型法人	水稲、アスパラガス、メロン
⑦	(農)たねっこ	大規模土地利用型法人	水稲、大豆、野菜、小菊・ケイトウ
⑧	(農)中仙さくらファーム【特農】	大規模土地利用型法人	水稲、大豆、りんどう
⑨	(有)大仙グリーンサービス	大規模土地利用型法人	水稲、大豆、菌床しいたけ
⑩	(株)農匠	大規模土地利用型法人	水稲、大豆
⑪	(農)アグリ四ツ屋【特農】	大規模土地利用型法人	水稲、大豆
⑫	(農)ニューファーム千畑【特農】	1集落1農場型法人(利益追求タイプ)	水稲、WCS、せり、ほうれんそう、大豆、りんどう
⑬	(農)アグリエース三井寺【特農】	1集落1農場型法人(利益追求タイプ)	水稲、大豆
⑭	(農)スカイマックス千畑	大規模土地利用型法人	水稲、大豆、菌床しいたけ
⑮	(農)アグリサービス中仙	大規模土地利用型法人	水稲、大豆
⑯	(農)本郷農場	1集落1農場型法人(利益追求タイプ)	水稲、WCS、大豆、アスパラガス、ほうれんそう
⑰	(農)あきた皆当	1集落1農場型法人(地域維持タイプ)	水稲
⑱	(農)強首ファーム	1集落1農場型法人(利益追求タイプ)	水稲、大豆、えだまめ、キャベツ、はくさい、小菊
⑲	(農)TEAM・Freedom	1集落1農場型法人(利益追求タイプ)	水稲、そらまめ、えだまめ、ねぎ



(有)大仙グリーンサービスの菌床しいたけ栽培



【特農】…特定農業法人
WCS…ホールクローブサイレージ

これからのほ場整備

地下灌漑施設を利用した複合経営戦略

TEAM.Freedom(チームフリーダム)(美郷町)は経営面積41.5haの農業生産法人で、水稲、大豆、ねぎ、そらまめ、えだまめ等の複合経営に取り組んでいます。平成22年には補助暗渠を含めた地下灌漑施設を設置して乾田化を図った水田70aでネギ栽培を行いました。結果として暗渠排水の効果が高まり、約2t/10aと上々の収量となったとのこと。細井代表が「本暗渠のみで栽培する予定だったが、いま考えるとゾッとする」とおっしゃっていたことが印象に残ります。地下灌漑施設を利用した複合経営戦略を確立したTEAM.Freedomは今後更に飛躍していくのではないのでしょうか。

(農)TEAM.Freedomの細井代表理事



これからも肉厚でジューシーなねぎを作ってください。

編集後記

TEAM.Freedom、強首コントリーエレベーター利用組合を取材した水沢です。各法人・組合から伺った内容を念頭に置き、農家の皆さんが持つ展望を実現できるよう微力を尽くしたいと考えております。お忙しい中、取材を受けてくださった方々に感謝申し上げます。

新人の袴田と申します。今回の取材では、ご多忙中にもかかわらず各法人の代表の方々より活動内容について丁寧に説明して頂き、大変勉強になりました。取材を通して伝わってきた熱意を胸に、これからがんばってまいりますので、どうかよろしくお願いたします。

採用されて9ヶ月のまだまだ未熟な今川貴秋です。今回は初めての取材という事で緊張していましたが、沢山のお話を聞かせていただきありがとうございました。伝わってきた農業への思いを仕事のモチベーションに生かしたいです。今後ほ場整備する地区の活躍を期待しています。

仙北の地を最初の勤務地として活躍する、ほ場整備事業担当の若手職員3名は、日夜、現場を飛び回り、地域農業を守るため、仕事に励んでおります。
NN イケメン トリオ (農業者向け 研修 企画) 担当3人) でした。



No.1 水沢 茂樹
誕生年 1987年
星座 山羊座
血液型 B型
特徴 長身の元ラガーマン



No.2 袴田 直幹
誕生年 1987年
星座 蟹座
血液型 AB型
特徴 弾丸のような元ラガーマン



No.3 今川 貴秋
誕生年 1991年
星座 天秤座
血液型 O型
特徴 ドラフト候補の元高校球児

秋田県マスコット スギツキ

せんぼくほ場整備通信

【目次】

- ごあいさつ…………… P.1
- 仙北のほ場整備の取組…………… P.2
- 仙北農業の現状、これからのほ場整備…………… P.4
- 編集後記…………… P.4

■第1号 平成23年2月28日
■発行/仙北地域振興局農林部
■編集/仙北地域ほ場整備推進チーム
TEL. 0187-63-6117
FAX. 0187-63-7771

小種地区のほ場整備事業を一つの契機として設立された農事組合法人「たねっこ」です。約280haの経営面積では、イオンとの水稲契約栽培や、野菜、花きなど様々な農業に取り組んでいます。



ケイトウの栽培の様子



(農)たねっこの皆さん



補助暗渠の施工の様子



(農)TEAM.Freedom(チームフリーダム)のねぎ畑

補助暗渠を埋設して、ねぎを栽培している本堂城回地区です。雨が降っても水がたまらず、排水効果バツカンです!

ごあいさつ

日頃、ほ場整備の推進につきまして、多大な御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。この度、「せんぼくほ場整備通信」を皆様へお届けします。編集を担当した「仙北地域ほ場整備推進チーム」は部内に設置したプロジェクトチームで、地域農業の目指す方向に即した農業経営への支援を目的として、農地や水路といったハード整備に加えて技術普及や農業経営などソフトを含めた総合支援を行っています。今回は、ほ場整備に併せて将来の地域農業づくりに積極的に取り組んでいる法人の事例等を中心に紹介しました。これらの法人は、経営の効率化にとどまらず、それぞれの地域の特色を生かした様々な取組を行っています。こうした事例を参考に、皆様の地域でも地域農業の将来に関する議論をさらに深めていただき、事業の円滑かつ効果的な実施につなげていただければ幸いです。これからも私たち関係職員一丸となって、皆様からの御意見・御指導を仰ぎながら、仙北地域のほ場整備を進めてまいります。さらなる御支援をお願いして、御挨拶とさせていただきます。



仙北地域振興局 農林部
次長(兼)農村整備第一課長 湊 正明

強首ブランド確立への道 強首地区・強首2期地区

強首地区では、現在ほ場整備事業にあわせて、今年度からは強首カントリーエレベーター利用組合主導によるカントリーエレベーターの建設が始まりました。完成後には強首の受益地内はもちろん、近隣地区の利用も視野に入れています。また、JA秋田おばこと連携した出荷をしていく考えで進めているようです。

ほ場整備によって効率良く農業を展開していく基盤を整備し、カントリーエレベーターの利用促進と併せた低コスト水稻栽培はもちろん、「これまで培ってきた畑作の知識・技術を存分に発揮した複合経営による強首ブランドを確立したい。」との展望を伺うことができました。

整備されたカントリーエレベーターで夢が広がりますね。



強首カントリーエレベーター利用組合 小山田組合長



強首地域で栽培されているキャベツ



えだまめの調整作業

挑戦し続ける法人、たねっこ 小種地区

「たねっこ」は五つの集落からなり、280haもの農地を経営しています。このスケールメリットを活かし、収穫された野菜はたねっこブランドとして都市部に出荷されています。

法人として、他の地域のまねではなく、「この土地、この気候で何が出来るのか」を研究することが重要と考えています。現在は、2人の研修生がちんげんさいとこまつなを栽培・研究しており、これは後継者の育成にもつながっています。

また、食育活動として、協和小学校の子供たちが田植え、稲刈り、店頭販売を体験できる機会をつくっています。



(農)たねっこの皆さん



(農)たねっこ 工藤第一理事



農地面積も活動の幅もスケールが大きいです。

意見交換会を開催！ 神岡西部地区

平成22年12月2日(木)、神岡西部地区を対象とした「あきた型ほ場整備」推進意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、現在ほ場整備を実施している地区関係者の方々に意見を交わしていただき、他の実施地区の課題解決や新規地区の計画策定に役立てることを目的としたものです。

農地が集まらない苦労話や法人経営の悩み、さらには米価下落の影響など、身近な話題が中心だったため、参加者の皆さんも真剣に耳を傾けていました。

また、参加者との意見交換も活発に行われ、人的ネットワーク作りにもつながる良い機会となりました。

農地集積、法人化について疑問がありましたらご相談下さい。



意見交換会の様子

県内トップの団結力！ 皆別当地区

皆別当地区は、関係農家47戸の全ての人が賛同し、全受益面積42haを法人に集積することとしています。

今後、本暗渠・補助暗渠を整備し、排水を良くするほ場では、「最初に大豆などのマメ科作物を作付して地力を向上させる。」など、安定した収穫を得るための営農計画を練っています。また、「ハウスでのほうれんそう栽培や、上の沢ため池の清流を利用した米作りにも挑戦していく。」そうです。



(農)あきた皆別当 戸島組合長と戸嶋理事



田植えを終えた皆別当地区の水田



このまま地域が団結して進むよう応援しています。

大豆の団地化による地区への貢献

中仙南部地区

中仙南部地区のアグリサービス中仙では、農地の利用集積による大規模な大豆栽培を展開しています。ほ場整備前は排水状況が悪く、大豆を作れるような場所ではなかったのですが、暗渠排水により排水状況が改善され、今では地区の大半で大豆を栽培することが可能になりました。

この法人は他の法人と少し違い、「利益を上げるより赤字にならなければいい。」という考え方をもっています。そのため、「頼まれた土地が排水不良や不整形で普通であれば作業したくないような土地であっても引き受けるよう努力している」とのことです。また、耕作放棄地の整備にも力を入れています。

このように、アグリは中仙南部地区の転作の受け皿としての役割を果たし、地域の方からの信頼を得ています。

今後も農家の方のためにがんばってもらいたいです。



大豆の播種



中仙地域の大豆

法人経営による地域農業の発展を目指して 東今泉地区

東今泉地区は旧太田町に位置し、受益面積52.6ha、関係農家73名の地区です。

本地区では、ほ場整備を契機として地区の大部分を(農)アグリフォー太田へ集積する計画としています。農地を集積したメリットを活かし、水稻、大豆のブロックローテーション栽培や高収益作物を栽培し安定した農業経営を目指していきます。

また、生産した大豆の加工と販売を行い、6次産業化を図り一年を通した、地域雇用の場をつくりながら地域農業を守っていききたいと考えています。

おいしい大豆食品が今から楽しみです。



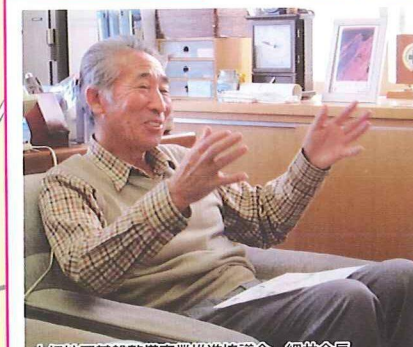
(農)アグリフォー太田の皆さん

法人化に向けて 大畑地区

大畑地区では、「法人化の前に地域住民の方の意識を変えたい!」という思いから、直売所を設立しました。販売している農産物は、大畑集落以外からも受け入れたり、山菜も並べるなど品ぞろえの多様化に努めています。こうすることで売上げの向上を図るだけでなく、自分が作っていない野菜を会員が買うなど交流の場としてもにぎわっています。また、幼稚園と保育所の給食へも食材を提供しています。

今後は、ほ場整備をきっかけに住民の方と一致団結して法人化へのステップアップを目指したいということでした。

法人化後にどのような活動をしていくのか楽しみです。



大畑地区基盤整備事業推進協議会 細井会長



設置された直売所



直売所に並ぶ農産物



秋田県マスコット スギッチ